

みずほ

第57号 (発行: 2026.3.28)

恋の季節

気温が上がり、春が近づくと生き物たちは恋の季節となります。森は野鳥のさえずりでにぎやかとなり、足元では色とりどりの草花がみられます。今号では、春に繁殖期を迎える両生類のうちエゾアカガエルとエゾサンショウウオの2種類を紹介します。

エゾアカガエル

冬は水の中や落ち葉の下などで越冬しており、雪解けとともに活動を始めます。オスは「キャラララ…」と鳴き、メスヘアピールします。

大合唱になることもあり、野鳥の鳴き声と聞き間違えることもあります。

エゾサンショウウオ

エゾアカガエルと同じく、水の中や落ち葉の下で越冬します。鳴き声がなく、産卵が夜間に行われることが多いため、確認が難しいです。メスの産卵にオスたちが群がるため、1箇所に集まっている様子が見られることもあります。

エゾアカガエルの成体(両ほほを膨らませて鳴く)



エゾアカガエルの卵



エゾアカガエルの幼生

エゾサンショウウオの成体(メスを待つオス)



エゾサンショウウオの卵



エゾサンショウウオの幼生

エゾアカガエルの初鳴きと卵初確認日

年	初鳴き	卵初確認
2022	4月12日	4月14日
2023	3月29日	3月30日
2024	4月4日	4月13日
2025	4月9日	4月12日
2026	?	?

※自然ふれあい交流館記録

雪解けとともに見られるエゾアカガエルとエゾサンショウウオの産卵。雪解けの進み具合や気温などにより年によってばらつきはありますが、3月下旬～4月中旬にかけて確認することができます。産卵のために、集まってくる春は、観察に適した季節です。

人間には寒い季節ですが、水辺に集まる両生類たちの熱い恋を観察しに行きませんか。

自然ふれあい交流館ではエゾサンショウウオを飼育・展示していますので、いつでも観察することができます

毒植物の芽吹き

自然の中には人間にとって「毒」となる生物がいます。毒の植物や毒キノコ、毒虫など色々ありますが、今号では特徴的で目立つ『毒植物の芽吹き』にスポットを当ててみたいと思います。

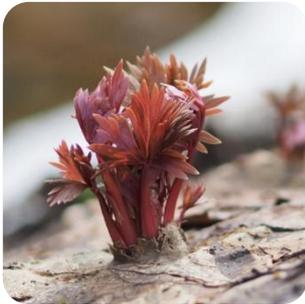
エソトリカブト（キンポウゲ科）

毒の成分：アコニチン、メサコニチン
症状：唇の痺れ、嘔吐、不整脈、多臓器不全
薬効：代謝機能の回復、強心、鎮痛、利尿



花期 8～9月

芽吹いたばかりは赤色ですが、のち緑色になります



ニリンソウの葉ととても似ています(左ニリンソウ、右エソトリカブト)



バイケイソウ（シュロソウ科）

毒の成分：ジェルピン、ベラトラミン、
プロトベラトリン、シクロパミン
症状：流涎、嘔吐、下痢、意識喪失、痙攣



花期 6～8月

葉の縦しわが目立ち、まとまって生えていることが多いです



フクジュソウ（キンポウゲ科）

毒の成分：アドニン
症状：嘔吐、頭痛、不整脈、心不全
薬効：強心



花期 4～5月

芽吹きと共に花が咲き、黄色の花は遠くからでも目立ちます①
花が終わると葉が大きくなりますが、周りの植物も多くなり、目立たなくなります②

①



②



コウライテンナンショウ（サトイモ科） 別名：マムシグサ

毒の成分：シュウ酸カルシウム
症状：粘膜の腫脹、疼痛、びらん
薬効：去痰、鎮痙、腫れ物、肩こり、リウマチ、胸痛



花期 5～6月

マムシの模様似ていると言われています



ツタウルシ（ウルシ科）

毒の成分：ウルシオール
症状：皮膚炎



花期：5～6月

芽吹いたばかりは赤色ですが、のち緑色になります



春の息吹が感じられる力強い芽吹きはとても魅力的です。どのように葉を広げるのか、どのような花や果実が見られるのか、季節の移ろいにあわせて成長していく姿も見逃せません♪

フキノトウのひみつ！

春が近づくと、雪解けとともにアキタブキが芽吹き始めます。
山菜としても有名なフキノトウは、アキタブキのつぼみです。

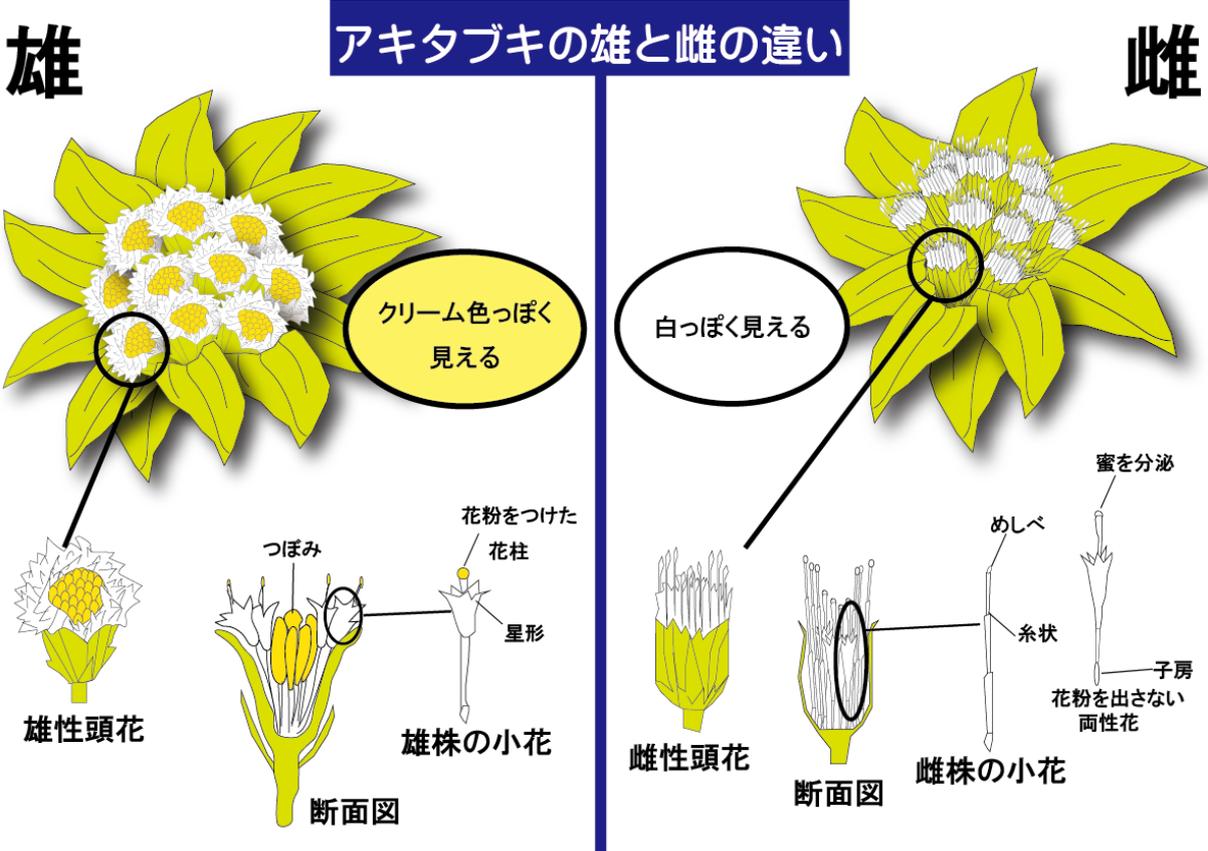
雄株



雌株



実はアキタブキには性別があり（雌雄異株）、雄の花と雌の花があります。
見分け方は花がクリーム色に見えるのが雄で、星形の花冠が見えます。
花が白っぽく見えるのが雌で、雌の花は糸状のめしべが伸びています。



みなさんもフキノトウを見つけたらじっくり観察して、確かめてみてはいかがでしょうか。

～文・絵：普及啓発員 A～

※園内では山菜を含む動植物の採取や、遊歩道を外れることはできません

野幌森林公園 自然ふれあい交流館

(発行・編集／指定管理者：一般財団法人北海道歴史文化財団)

開館時間：10～4月 9:30～16:30、5～9月・・・9:00～17:00

休館日：毎週月曜日（祝日・振休の場合開館）、年末年始（12/29～1/3）

入館料：無料

駐車場：大沢口 約40台収容、無料

連絡先：〒069-0832 北海道江別市西野幌 685-1 TEL011-386-5832

自然ふれあい交流館
公式ホームページ



自然ふれあい交流館
公式 SNS

